

No.	023	—	2001	事務事業名	体育施設管理運営事務	細事務事業名		公的関与	6				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会体育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	施設の維持管理		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	5 生涯スポーツの振興		主要施策	(2)スポーツ施設の整備充実・有効活用				
	事業の対象	市民				根拠法令							
	事業の目的	最終的	市民の健康増進、地域連帯感の醸成及び体育振興による交流を図るため、体育施設を設置し管理運営を行っています。				今年度						
	活動内容	①	体育施設利用の受付を行います。				④	使用予定の管理を行います。					
		②	施設や設備の修繕、点検を行います。				⑤	ツインドーム重信、農林業者トレーニングセンター及び川内体育センターの管理運営業務を指定管理者へ委託します。					
		③	利用者が安全に利用できるよう、備品の購入・入替を進めます。										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		使用料			使用料収入の年間積算	千円	目標	23,889	22,288	21,747	24,000		
					実績	21,932	22,331						
						目標							
						実績							
						目標							
					実績								
ODO	予算費目	会計	一般会計			費目名	教育			費			
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	34,322 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	21,932 千円	22,331 千円	21,747 千円								
		一般財源	25,767 千円	43,430 千円	28,503 千円								
		計(A)	82,021 千円	65,761 千円	50,250 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.700 人	4,227 千円	1.050 人	6,351 千円	1.050 人	6,399 千円					
		臨時職員工数・経費	0.300 人	546 千円	0.450 人	843 千円	0.450 人	847 千円					
	全体事業費(A+B)		86,794 千円	72,956 千円	57,496 千円								
一次評価者	社会体育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市民の健康増進、体力向上への関心は高まっており、スポーツ活動のためにも体育施設の設備の充実を図る必要があります。												
有効性	体育施設を利用して市民バレーボール大会等の各種大会を開催し、市民相互の親睦交流、スポーツ活動のきっかけになっています。												
達成度	各体育施設の利用申込は大変多くなっており、インターネットを利用して気軽に予約できる施設予約システムを導入していることも利用の増加になっている要素の一つになっています。												
効率性	3体育施設の管理運営業務を指定管理者へ委託しており、民間企業のノウハウを活用し、サービスの向上や経費削減に努めています。												
当面の課題	ツインドームのトレーニング機器を更新する必要があります。国体に向けて各体育施設の改修が必要になっています。												
改革計画	ツインドームのトレーニング機器は、順次更新を行っていく予定です。各体育施設の改修に向けて準備を行っていく予定です。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	市民の健康増進、地域連帯感の醸成及び体育振興による交流を図るため、体育施設の適正な管理運営を行って下さい。												

No.	023	—	2010	事務事業名	市民大運動会開催事業	細事務事業名		公的関与	8				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会体育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	17年度～年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	5 生涯スポーツの振興		主要施策	(4)スポーツ活動の普及促進				
	事業の対象	市民(37分館を対象)				根拠法令							
	事業の目的	最終的	全市民を対象とし、健康増進と市民相互の親睦・交流を深めます。			今年度	継続して開催します。						
	活動内容	①	リレー・綱引き・玉入れなどの分館対抗種目			④	参加分館、参加者個人への参加賞の交付						
		②	子どもから高齢者まで広く参加できる種目			⑤	シャトルバス運行や仮設トイレ設置などのサービス						
		③	昼食・休憩時間帯を活用したアトラクション										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		参加分館数		市内全域を対象とし、全37分館の参加を目指しています。		分館	目標 37	37	37	37			
					実績 33	雨天中止							
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	1,000千円	0千円	1,000千円								
		一般財源	2,070千円	2,026千円	2,022千円								
		計(A)	3,070千円	2,026千円	3,022千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.397人 2,397千円	0.397人 2,401千円	0.397人 2,419千円								
		臨時職員工数・経費	0.000人 0千円	0.000人 0千円	0.000人 0千円								
	全体事業費(A+B)		5,467千円	4,427千円	5,441千円								
一次評価者	社会体育係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	旧町時代から開催されており、長年に渡って開催されている市内最大イベントの一つであります。これまでに築きあげてきた歴史ある大会を継続して開催する必要性は大きいと思われます。												
有効性	市民の健康増進と親睦・交流を深めるイベントとして有効です。												
達成度	毎回多くの分館に参加をいただいておりますが、一部参加が困難になった地域(分館)がみられます。												
効率性	大勢の職員の協力が必要ですが、市の一大イベントとしては、効率的です。												
当面の課題	高齢化が進み地域によっては参加が困難になっています。また、参加している地域においても、参加者の固定化が見られます。												
改革計画	分館で連合を組む、シャトルバスのルートや便数に配慮するなど、多くの参加が得られるよう努力します。また、参加者のニーズを把握し、種目等に少しずつ改善を加え、マンネリ化の防止に努力します。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	市主催の行事として、継続できる方法を検討してください。												

No.	023	—	2017	事務事業名	各種スポーツ大会等開催事業	細事務事業名	東温市ボート教室事務	公的関与	8				
PLAN	課名	生涯学習課	係名	社会体育係	電話番号	089-964-1500	メールアドレス	syogaigakusyu@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち		政策項目	5 生涯スポーツの振興		主要施策	(4)スポーツ活動の普及促進				
	事業の対象	東温市内の小学校に通う高学年児童、及び中学生				根拠法令							
	事業の目的	最終的	ボート競技を体験することで、スポーツを通して青少年の健全育成を図ります。			今年度							
	活動内容	①	佐古ダムボート練習場で、愛媛大学ボート部員の指導によるボート体験教室を開催します。			④							
		②				⑤							
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	最終目標			
		参加人数	実績 (人)		人	目標	30	30	30	30			
				実績	20	中止							
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	教育		費					
	直接事業費		平成 23 年度決算	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	242 千円	134 千円	96 千円								
	計(A)	242 千円	134 千円	96 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.054 人	326 千円	0.054 人	327 千円	0.054 人	329 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		568 千円		461 千円		425 千円						
一次評価者	社会体育係	総合評価点	D	必要性	2	有効性	3	達成度	2	効率性	2	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	子どもたちにとって、ボート競技などいろいろなスポーツ体験を行うことは、青少年の健全育成に必要です。												
有効性	ボート競技という普段馴染みの薄いスポーツを、気軽に体験できるため有効です。但し、市が艇を保有しているわけではなく単独で実施できるスポーツではないため、手軽に実施できないのが問題です。												
達成度	体験教室としては概ね達成していますが、施設整備が十分に整っていないため、今後はボート競技の普及振興につなげていくことが必要です。												
効率性	以前は国の補助事業であったため積極的な協力が得られたが、市単独事業になってからは愛大ボート部の学生に直接依頼する形となっており、指導資格者の派遣等内容の検討が必要です。												
当面の課題	・参加人数が上がらない。 ・ボートの数が限られているため、待ち時間が長い。												
改革計画	・生涯学習推進委員会からも積極的な勧誘を喚起していきます。 ・水上だけでなく、陸上の訓練の体験や、ボートにまつわる興味深いエピソードの提供して行きます。												
二次評価者	生涯学習課長	総合評価点	D	必要性	3	有効性	3	達成度	3	効率性	2	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	ボート練習場の整備を機に、今後競技人口の増加に期待します。また、青少年の健全育成の場としても有効に活用して下さい。												